**事業に対する評価やご意見　まとめ**

資料１

**たくさんのご意見**

**ありがとうございます！**

**いただいた意見等は・・・**

**次期計画に反映**

パブリックコメント実施

第３回策定委員会（11/27）

修正した事業内容を提示

評価・意見・提案は

担当課に**共有**

****

現状維持２５件　一部見直しが必要19件　削除３件

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 実施事業 | 評価 | 意見・提案 |
| １ | 図書館における啓発 | 一部見直しが必要（拡充含む） | 強化週間月間以外に展示スペースは小さくとも『常設』コーナーの設置を望みます。悩んでいる方への出会いを増やす。 |
| ２ | 市民啓発事業（自殺対策） | 一部見直しが必要（拡充含む） | 参加者が少なく、成果が出にくいと考えられる。Youtubeなどで広く見てもらう、他の自治体などが行っている同様の企画や動画に誘導する、など効率的なことに移行してはどうか。 |
| ３ | 心の健康に関する出前講座 | 削除・一部見直しが必要（拡充含む） | * 睡眠や休息から自殺対策の根本的なつながりは考えにくい。項番２の講演会やセミナーの内容として項番３の内容を触れてもいいのでは
* 依頼があったのは日野人げんきゼミナールのみでしょうか？所管課がどの程度の件数に対応可能でどの程度の申し込みがあったのかが分かるとニーズがどうなのか、実際の対応状況がどうなのかなど分かりやすいかと思いました。
* 広報認知活動の拡充
 |
| ４ | 民生・児童委員の活動支援 | 一部見直しが必要（拡充含む） | * 民生委員の方々はゲートキーパー研修を受けているのでしょうか？住民の方から直接相談を受ける機会も多いかと思うので、気づきや声掛けができるとよいかと思います。
* 民生委員への教育機会の増加により対応力の向上を図り、未然防止を強化する
* 民生・児童委員にキャンペーンの周知をしたのち、民生・児童委員がどのような場面で、地域に周知したのかが大切だと思う。不安な家庭をリストアップして周知するなど、さらに踏み込んだこと行うとよいのではないか。民生・児童委員の発掘に努めるという状態では、取組が行われていないのではないか。
* 民生委員が「身近な相談相手」であり「守秘義務がある」ことをアピールし、困った時の相談窓口の一つとなるように周知していきたい。周知方法としては、民生委員のパネル展や産業まつりなどを利用していきたい。次回の改選期までに、一つでも多くの欠員地区を解消したい。
 |
| ５ | 家庭教育事業 | 削除 | 家庭教育学級は、PTAが独自に進めるものである。その開催数は自殺対策の実績とはならないと感じる。しかも、1校10名平均である。「みんなの音楽会」と自殺対策は関係が薄く、参加者も自殺防止についての関心が低いのではないか。現状維持をしてよいが、自殺対策に含めることは止めてよいのではないか。 |
| 6 | 職員研修（自殺対策） | 現状維持 | なし |
| ７ | 相談窓口パンフレット等の設置 | 一部見直しが必要（拡充含む） | * パンフレットもよいが、電子媒体の使用が増えているので、紙を置くだけでなく、データで見られるようにしてはどうか。
* 市役所や窓口で何か手続き等を行った際に渡していくのはどうか
 |
| ８ | 福祉の初期総合相談窓口事業 | 現状維持 | 相談窓口の方が研修を受けてスキルアップするのはとても良いと思いました。 |
| ９ | 消費生活相談 | 現状維持 | * 実績が分かると評価しやすいです。何人くらいつなげたのか、どのようなところにつないだのかなど分かるとありがたいです。
* ※可能でしたら状況内容のデータを次回委員会にて確認出来れば幸甚です。
 |
| １０ | 自殺対策推進委員会の開催 | 現状維持 | 市内の企業等との連携状況はどのようになっていますでしょうか？ |
| １２ | 緊急安否対応確認カード等の活用 | 現状維持・一部見直しが必要（拡充含む）・削除 | * カードがなくても庁内連携で十分な対応ができているならば不要。万が一カードを使う可能性があるならば、実績がなくてもその必要性や活用方法について引継ぎや周知を確実に行い必要なときに確実に使用できるような体制維持が必要。
* 実績がないということならば、削除してよいのではないか。
* ※可能であれば、確認カードのサンプルを次回委員会にて回覧願います。
 |
| 13 | 新生児訪問指導事業および乳児家庭全戸訪問（赤ちゃん訪問） | 現状維持 | なし |
| １４ | 母子保健(母子健康手帳交付等） | 一部見直しが必要（拡充含む） | できる限り感染防止の対策を講じて実施したとのことであるが、感染防止の対策を講じて、できる限り実施することが大切なのではないか。 |
| 15 | 母子保健（プレママ・乳幼児健康相談） | 現状維持 | なし |
| 16 | 妊婦訪問指導 | 現状維持 | なし |
| １７ | 性的マイノリティ支援事業（虹友カフェ） | 一部見直しが必要（拡充含む） | * 性的マイノリティの方々の自殺は大変多いと感じている。より一層の充実を図るとよいのではないか。
* 個人的には迷うところではあるが、昨今の状況並びに専門弁護士のセミナーにて中学生を対象とした相談も行っているとの情報を鑑みると若年層への対応も検討が必要な段階にきている。
* 相談がある都度に公民館や市民館を借りて開催するはどうか。
 |
| １８ | こころのセルフケア事業 | 現状維持 | ※自分も左記のような自死まではないが支援する側が病んでしまった経験がある。支援者同士の励ましあい助け合いは重要。 |
| 19 | 南多摩保健医療圏連絡会・研修会 | 現状維持 | なし |
| ２０ | 救急医療機関へのパンフレット設置 | 現状維持・一部見直しが必要（拡充含む） | * 日野市立病院だけでなく他の医療機関にも設置してもらえるとよりよいかと思います。
* 設置個所の増加が望ましい
* 病院での受診や初診の際に渡していくのはどうか
 |
| ２１ | 自殺未遂者支援等の検討 | 現状維持・一部見直しが必要（拡充含む） | * 項番19などで他市の取組も参考にしてもらえるとよいかと思います。
* 検討する取組なのに実施が研修に参加したことになっている。検討して取り組まなければならないのではないか。
* 具体的な仕組みづくりの開始
 |
| ２２ | 自死遺族等支援事業(周知） | 一部見直しが必要（拡充含む） | 設置個所の拡大 |
| ２３ | 自死遺族等支援事業(開催） | 現状維持 | 家族などで自殺の連鎖が起きた例を見ているので、大変重要だと思う。 |
| 24 | 生活困窮者自立支援事業（自立相談支援） | 現状維持 | なし |
| ２５ | 生活困窮者自立支援事業（子どもの学習等支援） | 現状維持 | 学校以外の子供の居場所や支援体制があることは有効である。 |
| 26 | 生活困窮者支援調整会議 | 現状維持 | なし |
| ２７ | 高齢者見守り支援ネットワーク事業 | 一部見直しが必要（拡充含む） | * 増員を図ることが実施内容になっているが、つなぎ役としての役割を果たせるようにすることが大切なのではないか。
* 自治会町内会への告知・活動拡大
 |
| ２８ | ふれあいサロン | 現状維持 | ゲートキーパー研修は実施できなかったのでしょうか？ |
| 29 | 地域包括支援センター事業 | 現状維持 | なし |
| ３０ | 就職支援セミナー等事業 | 一部見直しが必要（拡充含む） | 就労相談において、若年者の悩みを支援することは大切だと思うが、就職面接会などは、自殺対策にならないのではないか。企業の説明でプレッシャーを感じたり、実際の面接を行って失敗をする場合があるのなら逆効果になってしまう。相談を充実させるとよいのではないか。 |
| ３１ | 人権身の上相談事業 | 現状維持 | 普及啓発は実施無でしょうか？ |
| 32 | ひきこもり対策支援事業 | 現状維持 | なし |
| ３３ | 相談窓口案内カードの作成配布 | 現状維持 | * 相談窓口の案内は、東京都教育委員会経由で市教委からも配布しているため、カードよりも蛍光ペンを配布するほうが効果的であると考える。
* 平日の時間帯で子供は本当に相談できるのか。実際の子供の相談件数を知りたい
 |
| ３４ | 自殺対策啓発事業「いのちの学校」 | 現状維持・一部見直しが必要（拡充含む） | * いのちの大切さを考えるよい機会であるため。今後も学校公開の機会を利用して実施していきたい。
* 開催個所の拡大
* アンケート内容から子供たちがどのように捉えられたのか実態の把握が必要
* 生徒さんに伝える立場にある教職員の先生方が先に、知っていただくことが必要ではないか
* 「生命のメッセージ展」を開催したことをきっかけとし、教育関係者、行政の方々が独自に、自殺対策につながる新たな事業を展開し、健康課と教育委員会のより強い連携が望ましいと思う
 |
| ３５ | ＳＯＳの出し方に関する教育 | 現状維持・一部見直しが必要（拡充含む） | 児童・生徒の自殺予防対策として、SOSの出し方に関する教室については引き続き実施していく。 |
| * 保健師等、学校外の方から話を聞く機会は、有効であるため、今後も継続して実施していきたい。
* 開催個所の拡大
* 人員を増やしてSOSの出し方教育を普及すべき。伴って33の内容についてより検討するべき
 |
| ３６ | ＳＯＳの出し方に関する教育の研修受講の推奨 | 一部見直しが必要（拡充含む） | 教員がゲートキーパーの役割を担うことは重要であるため、引き続き実施していく。例えば、若手教員育成研修（３年次）で、毎年必ずゲートキーパー養成講座を実施するなど、健康課と教育指導課でより一層連携して実施することも検討していきたい。 |
| ３７ | スクールソーシャルワーカー活用事業 | 一部見直しが必要（拡充含む | * SSWは、相談ケースが増加していることもあり、中学校区あたり１人配置を目指して拡充が必要であると認識している。
* 不登校の生徒、自殺を口にする生徒が増えている。現状を踏まえ、ＳＳＷの増員が必須である。
 |
| ３８ | スクールカウンセラーの配置 | 現状維持・一部見直しが必要（拡充含む） | * SC全校配置は継続していく。配置日数増や大規模校への複数配置については東京都に要望していく。
* 自殺を口にする生徒が増えている。現状を踏まえ、SCの増員が必須である。
 |
| ３９ | 心理相談(教育相談・幼児相談） | 一部見直しが必要（拡充含む） | * タイムリーな相談が受けられるように増員など検討できないか？
* エールの相談の待ち時間短縮については、今後も取組を継続してほしい。
* SNSやリモートを活用した処理数の拡大
 |
| 40 | 自殺対策推進委員会の開催 | 現状維持 | なし |

**新規項目のご提案（委員のみなさまより）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 事業内容 | 理由 | 実施方法 |
| 新規 | 女性の自殺対策 | 国の大綱にも位置付けられている | 女性相談部署との連携など |
| 新規 | 精神科医療・福祉サービスとの連携 | 国の重点施策になっている | 精神科医療機関との連携など |
| 新規 | 子供食堂（青年食堂）の充実 | セミナーなどには、対象としている人はあまり参加しないが、子供食堂には、家庭に課題のある子供が来る確率が高い。そこから情報を入手して支援を進めるとよいと思う。 | 子供食堂だけでなく、青年食堂など対象を広げて実施するとさらに良いのではないか。 |
| 新規 | 日野市子ども包括支援センター等における　虐待等への対応の充実 | 虐待の件数が増加しており、家庭において危険な状態となるケースが増えている。心理士やSSWなど、家庭における生徒・保護者への支援を倍増する必要を感じている。 | 支援が充実するよう人員の倍増をなってほしい。 |
| 新規 | 市議会議員への情報共有提供　※既に行われてるかもしれませんが… | 自治体議員としての重要課題でもあることのへの認識強化平準化 | 資料データ提供、並びに市役所当該部門担当者との会議体開催 |